

**小千谷市の生産者が  
連続総合優勝**

海外での人気も高く、品評会にも海外から訪れる方を多く見かけます。2016年には第56回を数えた歴史のある品評会で、約90の生産者が参加し、約900尾の出品がありました。特別賞となる全体総合優勝1席は、この頂点に立つ錦鯉です。近年、小千谷市の生産者が連続受賞していますが、これも錦鯉発祥の地としての誇りです。



小千谷市錦鯉漁業協同組合事務局長 風間茂男さん

**新潟県錦鯉品評会**

錦鯉の生産が盛んな新潟県では、9月から11月初旬に県内各地で錦鯉の品評会が行われる。なかでも最大規模を誇るのが小千谷市で開催される「農林水産祭参加 新潟県錦鯉品評会」。県内の錦鯉生産者が育てた錦鯉が一堂に集まり、錦鯉の美と生産者の技術を競うとともに、優秀品種交流の場にもなっている。

**開催DATA**

**開催日**  
毎年10月末～11月初旬の土・日曜の2日間  
**開催場所**  
小千谷市総合体育館  
コミュニティプラザ  
◎小千谷市大字桜町4915 ◎小千谷駅角バス停から10分の総合体育館入口下車、徒歩3分。または関越自動車道小千谷ICから車で2分 ◎入場整理券500円 ◎350台  
**主催** 新潟県・新潟県錦鯉協議会  
◎0258-41-1405



◎小千谷市錦鯉の里は純日本風の門構え



◎小千谷市錦鯉の里のマスコットキャラクターである鯉丸くんがお出迎え



**日本庭園**

大小の滝や橋などを配置した池に、オーナーから預かった約140尾の錦鯉が泳ぐ。錦鯉オーナーとは、小千谷市の生産者から購入した錦鯉を、錦鯉の里が預かり飼育・展示しているもの。



◎池に泳ぐ錦鯉は、冬期は観賞棟の観賞池に移される

**おちやし にしきごいのさと**

**小千谷市 錦鯉の里**

◎0258-83-2233

小千谷市錦鯉の里は、錦鯉の街・小千谷のシンボリック的存在。いつでも間近に錦鯉を鑑賞することができ、歴史や品種、飼育方法などについて学べる世界で唯一の錦鯉ミュージアムだ。

◎小千谷市内1-8-22 ◎小千谷駅角バス停から4分の本町中央下車、徒歩5分。または関越自動車道小千谷ICから車で5分 ◎大人510円、小中学生300円 ◎9～18時(12～2月は～17時) ◎無休(臨時休あり) ◎70台

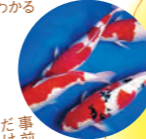
**資料展示コーナー**



錦鯉の発祥から現在への移り変わり、品種の説明などの資料を展示。ビデオでは錦鯉の飼育方法や品評会の様子を放映する。

◎資料展示コーナーでは水槽で飼育する錦鯉も見られる

◎錦鯉の模様やしなは、上から見下ろすように鑑賞するとよくわかる



小千谷市錦鯉の里マネージャー 平沢勝佳さん

**プロに教えてもらう  
観賞の仕方**

錦鯉の美しさといえは、やはり模様が目が行きますね。錦鯉には同じ模様がないといわれ、個体ごとに模様や色が異なります。体型は丸みを帯びたものが美しいといわれ、バランスが整い、より丸みを帯びたものがよいとされています。錦鯉の里には、約250尾が飼育・展示されています。すくすく、個体ごとに異なる模様や体型を見比べてみるのも楽しみです。

**小千谷市  
錦鯉の里へ  
行くこう！**

錦鯉のことなら何でもおまかせ！



**観賞池**

大きなドーム型展示棟にあり、観賞池には小千谷生まれの錦鯉が約20品種110尾が泳ぐ。大きなものでは1mを越し、間近で見られる錦鯉の群れは迫力満点。

広々とした観賞池では錦鯉にエサを与えることもできる

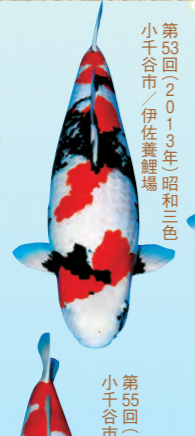
**近年の  
全体総合優勝1席  
受賞鯉**

出品は匿名。体型・色彩・斑紋・素質・品位・風格などを総合審査し、審査員の記名投票によって順位が決まる。全体総合優勝1席(農林水産大臣賞)は、全出品鯉の中から1点を記名投票によって選ばれる。

写真提供:月刊錦鯉



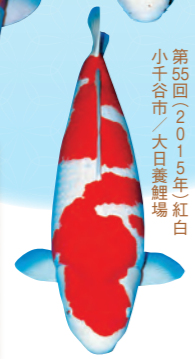
第56回(2016年)紅白 小千谷市/大日養鯉場



第53回(2013年)昭和三色 小千谷市/伊佐養鯉場



第52回(2012年)紅白 小千谷市/大日養鯉場



第55回(2015年)紅白 小千谷市/大日養鯉場

**いい模様の錦鯉を  
見つける楽しみ**

子どもの頃から錦鯉養殖業の親の手伝いをしてきたので、錦鯉ひと筋です。季節や天気、あるいは品種によつてエサの種類や配合を変えます。また、池によつてもその土壌に適した品種というのがあります。自然の中で育てるので難しい反面、いい模様や鮮やかな色付きの錦鯉を見つけたときは大きな喜びになります。



小千谷市錦鯉漁業協同組合副組合長 間野 等さん

**ここにも注目!**

**JA越後おちや 錦鯉市場**

◎0258-59-3440

錦鯉市場は、生産者と販売業者が安心して取引できるように開催される定期市場で、4～11月の毎週金曜日に開催される。生産者は、出荷鯉と3週間同居させた小さな錦鯉を検査機関で検査し、安全が確認された後、出荷鯉の出荷が許可される。透明度のよい二重袋に水、酸素を詰めて出荷し、市場内でセリにかけられる。「舟」と呼ばれる青いケースに入れられた錦鯉が市場内の水路に流され、「番台」と呼ばれるセリ人の掛け声に合わせて、続々と落札されていく。一般見学は不可。

◎小千谷市大字南河原3396 ◎関越自動車道小千谷ICから車で15分 ◎20台



◎ブックカバー 3020円、小銭入れ 1730円、笹団子根付540円、そら豆根付760円。どれも小千谷縮の風合いが見事に生かされている



**隣接するおすすめスポット**

**小千谷市総合産業会館 サンプラザ  
小千谷織物工房**

◎0258-83-2329

1階の織之座では小千谷縮の歴史や技術を紹介する展示ギャラリーや機織りの実演が見られ、コースター織り体験もできる。2階の匠之座では小千谷縮を使用した和装小物やインテリア、テーブルウェア、洋服などを販売 ◎小千谷市内1-8-25 ◎小千谷駅角バス停から4分の本町中央下車、徒歩5分。または関越自動車道小千谷ICから車で5分 ◎無料 ◎9～18時(12～2月は～17時)。匠之座は10～17時 ◎水曜 ◎70台



織之座(小千谷織物同業協同組合)

**魚沼産コシヒカリ  
「おちや米」**

清らかな水が潤す豊かな大地、昼と夜の寒暖の差が激しい気候が育む魚沼産コシヒカリ「おちや米」。独特の甘みと粘り気、水晶のような輝き、そして冷めてもおいしい米は、小千谷自慢の逸品。購入は小千谷市総合産業会館 サンプラザ逸品館へ→P7



◎市場内に水路が流れ、2階からもセリに参加できる  
◎舟に乗せられ、セリを待つ錦鯉

